

名鉄名古屋駅をはじめ、4 駅に AED(自動体外式除細動器)を設置

名古屋鉄道は、平成 18 年 4 月 1 日(土)から名鉄名古屋駅に、同 4 日(火)から金山駅・神宮前駅・中部国際空港駅の計 4 駅に、AED(自動体外式除細動器)計 10 台を設置します(詳細は下表参照)。

AEDとは、Automated External Defibrillator の略で、突然心室細動が発生し心停止となり、心臓から全身に血液が送り出せなくなる状態に陥ったときに、心臓に電気ショック(電氣的除細動)を与えて、正常な状態を取り戻させるための医療機器です。

今回設置する AED は、財団法人公衆保健協会から寄贈されたもので、設置にあたり、3 月 27 日から 29 日までの 3 日間、設置駅の駅員等合計 40 人を対象に AED の使用に関する研修を実施しました。

なお、当社における AED の設置台数は、医療法人澄心会豊橋ハートセンターから寄贈され、3 月 14 日(火)に東岡崎駅構内に設置した 1 台を含め、計 11 台となります。

当社では、今後もお客さまに安心してご利用いただける駅づくりに努めてまいります。

【AED 設置駅について】

設置駅	台数	設置日
名鉄名古屋駅	4 台	平成 18 年 4 月 1 日(土)
金山駅	3 台	平成 18 年 4 月 4 日(火)
神宮前駅	2 台	平成 18 年 4 月 4 日(火)
中部国際空港駅	1 台	平成 18 年 4 月 4 日(火)
東岡崎駅	1 台	平成 18 年 3 月 14 日(火) 設置済

【スタンド型 AED】



以上